

◆企画名	peer 憩いの場「はねやすめ」
日程	平成 26 年 11 月 1 日 (土) ~ 11 月 4 日 (火)
場所	総合学生会館凜風館 1 階 ピアエリア、グローバルエリア、ライティングエリア
参加者数	15 名 (ピア・サポータ 14 名、研修生 1 名)
目的	

ピア・コミュニティの大きな課題として、団体の知名度がまだまだ低いという点が挙げられる。そこで学園祭という関西大学に大勢の人々が集う機会を利用し、ピア・コミュニティについて気軽に知ってもらえる場を設けたいと考えた。また、ゆっくり座って休憩したり、買ったものをゆっくり食べられたり、学園祭をより楽しむためにもちよっと一息つける場所にもしたいと考え、実施した。

内 容

- ・机にラミネート加工したコミュニティ紹介資料を置き、自由に見てもらえるようにした。
- ・昨年度の広報・掲示活動で作成したポスター・資料・各コミュニティから提供された実際の企画写真などをホワイトボード、衝立などを利用して掲示をした。
- ・プロジェクターとテレビを使用して、KUSP、KU サポーターズの実際の企画映像や紹介プロモーションビデオを流した。
- ・当企画そのものを知ってもらうため、宣伝をおこなった。
- ・質問対応、巡回をした。

効 果

- ・KUSP がワコールとコラボレーションして企画をするきっかけになれた。
- ワコールの方達が何か関大生のために講演会をしたいと考えており、机の上に置いていた資料を見て、KUSP 主催の企画に興味を持ち、共催企画が実現した。
- ・当日に運営するサポータの人数が少ないように感じ、心配していたが、呼び込みや質問対応、巡回ができていたので良かった。
- ・サポータが楽しんで活動できた。
- ・準備の進行は遅かったものの、資料や写真は良いものができた。今後、様々な企画の中で使えると思った。

改 善 点

- ・質問への対応に困ることがあった。
- マニュアルをあらかじめ作っておく。
- ・展示物を多くの人に見てもらうにはどうしたらいいかを考えていくべき。
- ・展示物の準備にとりかかるのが遅かった。
- 学園祭の前日に急いで作業をしていたので、余裕をもって作業に取り掛かれるようにする。(学園祭の 3 日前までには準備を終わらせておく、など。)

感 想

他コミュニティからの資料集めは、コミュニティごとに資料の量の多寡や、資料を貰える日の遅速が様々であったこと、どの資料や写真を展示するかを選ぶのにも時間がかかり大変だった。しかし、資料や写真はこれからも使える良いものができたので良かったと思う。当日はスムーズな行動もでき、サポータも楽しめた。今後またこの企画を行う際には、スペースをもっと広げ、より多くの学生や一般の人達に一息ついてもらい、ピア・コミュニティの事を知ってもらえたらいいなと感じた。